

令和7年度 桐生市立西小学校経営構想図



学校の教育目標 [基本目標]

自ら考え行動し、心豊かにたくましく生きる子供の育成

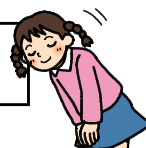
目指す児童像 [具体目標] 「かしこく やさしく たくましい」



かしこく (知)

- ◎主体的に物事に取り組む実践力を持つ子
- ◎自分事として考え、思いが伝えられる子
 - ・きまりを守り、けじめがつけられる子
 - ・自分のよいところを伸ばそうとする子
 - ・自分と違う考えから、新たな気づきや発見をしようとする子
 - ・間違いや失敗を恐れず、試行錯誤しながら、挑戦しようとする子

やさしく (徳)



- ◎素直で明るく思いやりのある子
- ◎返事やあいさつがきちんとできる子
 - ・違いを認め尊重し、互いに助け合い、励まし合うことのできる子
 - ・自然やものを大事にし、自らができるところを考え、行動できる子

たくましく (体)



- ◎運動に親しみ進んで体を鍛える子
- ◎基本的生活習慣を身に付けた子
 - ・自らの目標の達成に向けて粘り強く取り組む子
 - ・SNS等の適切な使用について、理解し自らの健康や安全に気を付ける子

目標達成に向けた指導の重点

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『はばたく群馬の指導プラン』を参考とした授業改善・授業改革を推進する
- ②思考力・判断力・表現力等を育成するために、日々の授業における協働学習や発問を工夫する
- ③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、活用力を育むための指導(ドリル学習・図書の活用・家庭学習等)の徹底を図る
- ④互いに認め合い、支え合い、学び合える「間違えても大丈夫!」といった心理的な安心・安全が確保された集団づくりと授業中の積極的な生徒指導を推進する

- ①道徳科を中心に、あらゆる機会をとらえて道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる支援を行う
- ②児童の個性の伸張を図りながら、個々の自己実現を支援し、望ましい生活行動の実践化を図る
- ③児童相互、教師と児童の人間的なふれあいを基盤とし、時・場所・状況に応じた個別指導・集団指導の充実に努める
- ④障害や学習上・生活上に困難を抱える児童への正しい理解をもとに自立と社会参加に向けて、関係機関と連携を図り、組織的に指導を行う

- ①発達段階に合う運動量が確保された体育の授業を工夫するとともに、遊びの中で体を動かし、運動の楽しさを味わわせ、習慣化を図る
- ②メディアコントロールも含めた規則正しい生活の重要性を理解させ、実践しようとする意欲の向上を図る
- ③自己の夢や目標に向かって主体的に努力する活動体験を充実させる
- ④健康安全は自分で守ろうとする意識、態度、能力を育てる

目指す学校像 ～♡みんな笑顔♡～



学校経営方針

- ① 児童が楽しく過ごし、夢を描ける学校
 - ・毎日、晴れやかな気持ちで登校できる学校
 - ・自らの能力を発見し、伸ばし、発揮できる学校
 - ・仲間との和を大切にし、規律と秩序の中で真剣に学べる学校
 - ・安全で安心して過ごせる学校
- ② 保護者が親しみや安心を感じられる学校
 - ・必要な情報を発信、受信できる学校
 - ・保護者も子供とともに学び、歩む学校
 - ・安心して相談できる開かれた学校
- ③ 地域から愛され、信頼される学校
 - ・地域に貢献し、地域から期待され、地域とともに歩む学校
 - ・学校内外の環境整備に心掛け、地域の財産となる学校
 - ・来校者や電話対応等、挨拶や言葉遣いを丁寧に行う学校
- ④ 教職員が職務にやりがいを感じられる学校
 - ・不断の研究と修養に努め、自覚と誇りを持って職務に臨める学校
 - ・児童理解に努め、健康で明るく温かい人間力で指導・支援する学校
 - ・働きやすい職場づくりを進める学校
 - ・情熱と使命感を持ち、職員が協力し合い補い合って、児童のために協働する学校
 - ・教師自らが「夢」を語り、学びへの好奇心をもつことで、児童の鑑となり、互いの成長を促す学校

- (1) 学校運営組織の充実・改善
「チーム西小」を自覚し、校内研修等を通じて教師としての力量や特性を高め、個々の「教師力」を向上させる。また、情報を共有し、組織としての協働態勢で教育を推進する。
- (2) 学力の向上
・児童が自己存在感や自己有用感を感じられる個に応じた指導・支援を行うとともに、肯定的な評価を推進する。また、幼小連携・小中連携・小中連携並びに高校や大学等と積極的に交流する。
・基礎的・基本的な知識や技能の定着を基盤とした上で、「自己決定」「対話・交流」「試行錯誤」の3つの場面を意識した問題解決的な学びを取り入れる。
- (3) 豊かな心の育成
人権感覚を磨き、「思いやりの心」「命を大切にする心」等の育成に努めるとともに、教育活動全体を通して道徳性の育成を図る。
- (4) 体力の向上と健康安全教育の充実
体育の授業や体育的諸行事の充実を図り、運動の楽しさや心地よさを味わわせる中で、児童自らが、体力の向上、健康づくり、安全意識の向上に努めることができるよう支援する。
- (5) ふるさと西・郷土桐生を愛する子供の育成
地域の人的・物的教育資源の活用を図るなど、家庭・地域・関係団体等との連携を深める。